

[担当教員]

山崎寿一（教授） 近藤民代（教授） 山口秀文（助教） 島田陽（タアーキテツ / 島田陽建築設計事務所） 山隈直人（kt 一級建築士事務所）

[Teaching Assistant]

奥村紗帆（A70） 前田菜摘（A70） 山根駿二（A70） 澤田亘輝

■課題概要

設計課題のテーマは「開かれた家」とする。住宅は家族だけで住み、生活をするだけの器なのか。従来型の住宅パラダイムにとらわれない新しい住宅を構想して提案してほしい。コミュニティカフェを併設した住宅、ワークスペースを備えた住宅、他者と住もうシェアハウジング（但し、家主が居住していること）など、社会や地域への開き方を各自で想定する。

居住者構成やライフスタイルは設計条件として、各自が具体的に設定する。単身や親族以外の同居も可とする。居住者構成とライフスタイルに応じた空間構成や周辺環境を活かした設計を行う。

構造・階数は、自由に想定してよい。

所要室等は、標準家族のための専用住居として必要な室だけに留まらず、家族以外の者による居住や利用等、新たな暮らしへの提案も含むものが望ましい。

■敷地：選択制とする。

・敷地 A（約 230 m²）：阪急六甲駅北側。斜面の住宅地の一画。幹線道路沿い。第1種中高層住居専用地域（建蔽率 60%、容積率 200%）。

・敷地 B（約 160 m²）：八幡神社の南側。参道沿い。第1種中高層住居専用地域（建蔽率 60%、容積率 200%）。

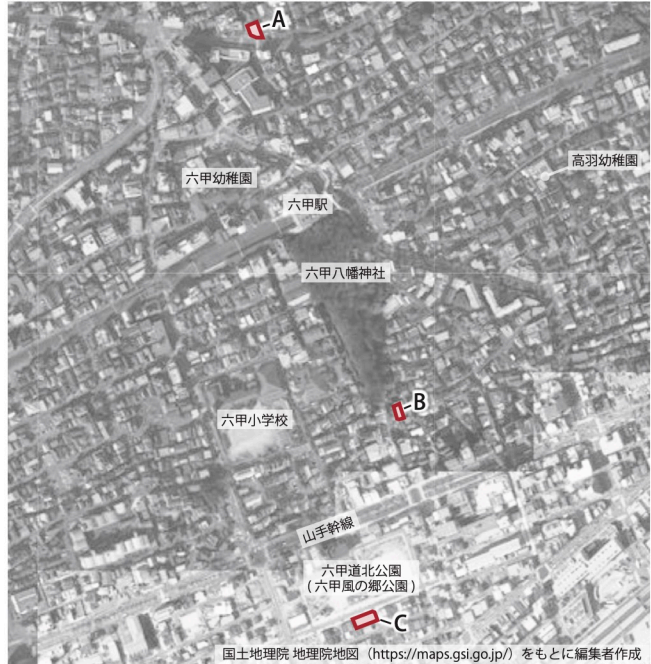
・敷地 C（約 300 m²）：阪神・淡路大震災土地区画整理事業区域内。北側に六甲道北公園。第1種住居地域（建蔽率 60%、容積率 200%）。

■提出物・用紙

(1) 所用図面：配置図兼1階平面図 1:100、各階平面図 1:100、立面図 1:100、断面図 1:100、模型写真、外観スケッチ、透視図、

設計主旨・面積表

(2) 用紙：A3 用紙（仕上げ、彩色等自由）



国土地理院 地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに編集者作成
課題敷地

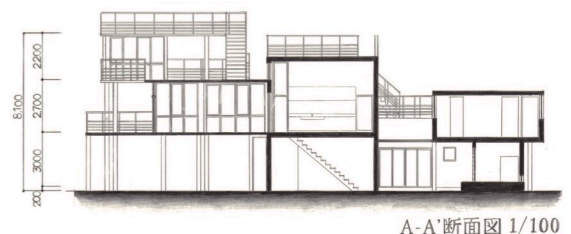
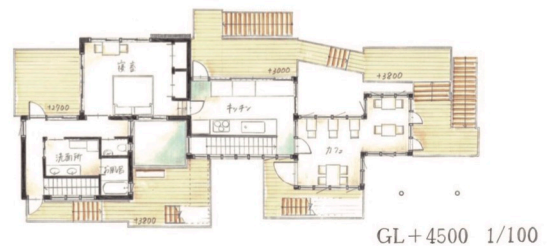
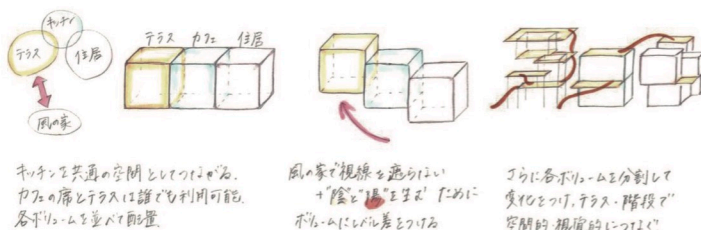
陽を求めて

山本真菜

様々な人たちが集う公園の向かいに、自由に利用できるテラスを備えた住宅を設計する。目を引く外観で公園の人々を誘い景色を望むという共通意識をつくることで交流を生む。1階のプロティは“陰”を求める人たちの空間。階が上がるにつれ“陽”を求める人たちの空間へと変化していく。



ダイアグラム



北岡智也

閼しきいのそとがわで、あるいはそのなかで



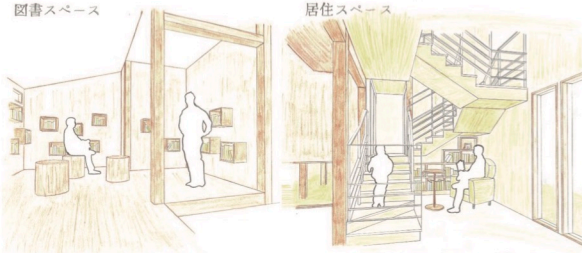
長澤岳

住宅の一部を利用者参加型の図書館として開放し、住宅と図書館、プライベートとオープンという二つの空間を中土間によってつなげている。人々の視線、会話が中土間を通してこぼれだし、居住者と利用者がお互いの存在を少しずつ感じられる。本を通した人々の新たなつながりを築く場所。

行間の家



図書スペース



中土間



ダイアグラム

